

受 験 上 の 注 意

1. 学力検査日時及び試験場

- (1) 試験日 令和6年3月3日（日）
- (2) 試験場 人間社会第2講義棟（別添の試験場案内図参照）
※一般入試の受験者は9時から筆記試験室へ入室できます。

(3) 試験科目・時間

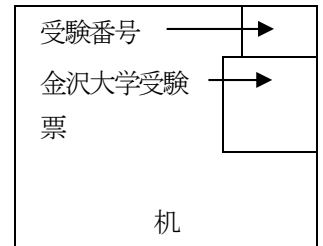
受験区分	試験科目	時間
一般入試	学校教育に関する小論文	午前10時～午前11時30分
	口述試験	午後1時～

2. 受験票

- (1) 試験当日は、A4サイズで印刷した「金沢大学受験票」を必ず持参してください。
- (2) 小論文の試験中は、「金沢大学受験票」は二つ折りにして、監督者が受験番号、氏名等を見えるように机の上に置いてください。

- (注) ① 試験当日、「金沢大学受験票」を持参しなかった場合は、試験場入口の掲示で確認して、試験場本部に行き、係員の指示を受けてください。
- ② 「金沢大学受験票」は、入学手続完了まで、紛失しないように大切に保管してください。

受験票の置き方



3. 受験に際しての注意

- (1) 受験者は、試験開始20分前までにかばん等を持ったまま試験室に入室し、「金沢大学受験票」と同一の受験番号の席に着いてください。また、口述試験は筆記試験室を控室とし、試験開始20分前までに入室してください。
- (2) 小論文においては試験開始後20分、口述試験においては試験開始時刻（13時）を経過した遅刻者は、原則として受験できません。
- (3) 所持品は、集合時刻後に監督者の指示に従ってください。
- (4) 試験に際し、不正行為（試験の公平性や円滑な実施を損なう恐れがある行為等）があると本学教職実践研究科が判断した場合は、失格とします。不正行為については「金沢大学入学者選抜試験での不正行為の注意」を確認してください。

4. 一般入試「学校教育に関する小論文」の注意事項

- (1) 試験時間中は退室を認めません。
試験時間中の発病等緊急の場合又はトイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
ただし、一時退室が認められた場合でも、休養室などでの受験はできません。また、一時退室した分の解答開始時刻の繰り下げや試験時間の延長も認めません。
- (2) 所持品の取扱いは、以下を厳守しなければなりません。

①試験時間中、受験票のほかに机の上に置けるものは、「黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）」、「鉛筆キャップ」、「シャープペンシル（黒い芯に限る。シャープペンシルの芯ケースは不可）」、「消しゴム（電動式は不可）」、「鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）」、「直定規」、「時計（辞書や電卓、通信等の機能のあるもの、それらの機能の有無が半別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）」、「眼鏡」、「ハンカチ（無地に限る）」、「目薬」、「ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）」です。これら以外の所持品を置いてはいけません。

なお、「電子辞書」、「携帯電話」、「スマートフォン」、「ウェアラブル端末（腕時計型、イヤホン型、リストバンド型等すべて含む）」、「ICレコーダー」等の電子機器類の使用は認めません。

②アラーム機能のついた時計は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。

③試験室内では携帯電話等の使用は認めません。

携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておいてください。アラームは、設定を解除しないと電源を切っても鳴ることがありますので十分注意してください。

なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音等が発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を所持品置場から持ち出し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。

④「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがあるので使用を認めません。

⑤試験室内ではコート類を着用しても差し支えありません。

漢字や英文字、地図等がプリントされている服等は着用を認めません。着用している場合には、脱衣を指示することがあります。

⑥「座布団」、「ひざ掛け」の使用を希望する者は、監督者に申し出て許可を得ること。

(3) 試験時間中にマスクを着用している場合は、本人確認のため、一時的に外すよう監督者が指示することがあります。

(4) 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。

5. 「口述試験」の注意事項

(1) 口述試験控室内では携帯電話等の使用を認めません。控室に入る前に必ずアラーム設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れてください。

(2) 口述試験控室内では、読書等により静粛にしてください。

(3) 試験に際し、受験番号を呼ばれたら、受験票及びすべての所持品を持って口述試験室に移動してください。

(4) 口述試験では、アドミッション・ポリシーを念頭においた質疑応答を個人単位で行います。

(5) 口述試験終了後は、口述試験控室には戻らず、逐次帰宅してください。

6. その他

(1) 試験中はもちろん試験時間外といえども、静粛にしてください。

(2) 受験者は各自昼食を用意し、試験室の自席でとってください（食堂・売店は休業日です）。

(3) キャンパス内は禁煙です。

(4) 降雪等による交通渋滞が発生する場合もあるので、早めに試験場に到着するよう注意してください。また、試験場へは、公共交通機関（バス等）の利用を推奨します。やむを得ず自家用車を利用される場合は、P 駐車場に駐車してください。

※JR 金沢駅からバスを利用する場合は、金沢駅兼六園口（東口）バスターミナル8 番乗り場から北陸鉄道バス「金沢大学行き」乗車、**終点バス停「金沢大学（終点）」で下車**してください。

※自家用車を利用の場合、渋滞や交通事故等による遅刻に対し、試験時間の繰り下げ措置等は行いません。

(5) 不測の事態により試験時間等を変更する場合は、金沢大学大学院教職実践研究科 Web サイトに随時情報を掲載しますので、受験直前は特に注意してください。

教職実践研究科 Web サイト：<https://pdte.w3.kanazawa-u.ac.jp>



<問合せ先>

金沢大学人間社会系事務部学生課入試・学生募集係

TEL：076-264-5600～5602

Mail：n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学大学院教職実践研究科（教職大学院）
令和6年度（2024年度）入学者選抜試験（第2期募集）

試験場案内図

金沢大学 人間社会第2講義棟

